



令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について。

令和7年4月に、6年生を対象に実施された令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果を分析してまとめました。その一部を紹介致します。

ー 児童質問紙調査の結果から ー

<家庭学習について>

Q:学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。

(1) 3時間以上	7.0(-5.1)
(2) 2時間以上、3時間より少ない	14.7(+1.9)
(3) 1時間以上、2時間より少ない	24.8(-4.3)
(4) 30分以上、1時間より少ない	31.0(+3.6)
(5) 30分より少ない	17.1(+4.2)
(6) 全くしない	5.4(-0.3)

6年生の目安の家庭学習の時間(60分)以上、勉強している児童が少ない。
全国値と比べても低い。

Q:土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や、家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。

(1) 4時間以上	6.2(-1.2)
(2) 3時間以上、4時間より少ない	7.0(+2.6)
(3) 2時間以上、3時間より少ない	10.1(+0.4)
(4) 1時間以上、2時間より少ない	17.8(-7.8)
(5) 1時間より少ない	35.7(+0.5)
(6) 全くしない	23.3(+5.8)

土曜日や日曜日など、学校が休みの日に勉強している児童が、全国値と比べて低い。

<非認知能力について>【否定的回答の割合】

	本校	全国
やりぬく力	21.7	18.1
自制心	21.7	19.1
自己肯定感	13.2	13.0
社会性	10.9	6.3

非認知能力に関わる4つの項目において、否定的回答の割合が、全国値と比べて高い。

<読書について>

【肯定的回答の割合】

	ほんこう 本校	ぜんこく 全国
どくしょ す 読書は好きですか	71.3	69.7

こうていてきかいとう わりあい ぜんこくち
肯定的回答の割合が、全国値と
くら たか
比べて高い。

<国語について>

Q:国語の勉強は好きですか。

(1) 当てはまる	29.5(+5.4)
(2) どちらかといえば、当てはまる	27.9(-6.3)
(3) どちらかといえば、当てはまらない	21.7(-5.0)
(4) 当てはまらない	20.9(+6.)

こうていてきかいとう わりあい
肯定的回答の割合が、
はんすう こ
半数を超えた。
(さくねんど ふ
昨年度より増えた。)

<算数について>

Q:算数の勉強は好きですか。

(1) 当てはまる	34.9(+1.2)
(2) どちらかといえば、当てはまる	17.1(-7.1)
(3) どちらかといえば、当てはまらない	21.7(+0.2)
(4) 当てはまらない	25.6(+5.0)

ひていてきかいとう わりあい
否定的回答の割合が、
ぜんこくち くら たか
全国値と比べて高い。

— 教科に関する調査の結果から —

<平均正答率(%)について>

	こくご 国語	さんすう 算数	りか 理科
ほんこう 本校	70	62	61
すずかし 鈴鹿市	66	57	56
みえけん 三重県	66	57	56
ぜんこく 全国	66.8	58.0	57.1

※ ほんこう 国語・算数・理科の
3教科とも、市・県・全国の
平均正答率(%)を、上回り
しました。

— 振り返りと今後の取組について —

- ・国語においては、記述式問題の正答率が高くなった。但し、国語・算数の何れも問題の読み取りに課題が見られ、また、必要な情報を選択してまとめる力や、その内容から自分の考えを持ち、表現する力をより一層つけていく必要があることが分かった。それらを意識した授業改善を、研修部を中心にして、学校全体で進めていく。
- ・家庭学習の習慣を定着させるために、今後も、家庭学習の啓発に取り組み、また、家庭学習の内容(「自主学習」の推進や「クロームブック」を活用した宿題等)の充実を図っていく。
- ・引き続き、日常的に読書への働きかけを行っていく。また、図書イベントの開催や学期毎の「ふりかえりシート」の活用等、読書活動への意欲付けを継続していく。
- ・非認知能力の向上を課題として認識し、学校全体で取組を検討して実践していく。